

# 第3回 北海道 プライマリ・ケア フォーラム

<第3回 北海道プライマリ・ケア フォーラム テーマ>

**「聞きたい! 知りたい! 学びたい!  
深めよう あなたのの中の総合診療」**

## 基調講演

座長: 松前町立松前病院 院長 木村 眞司 先生

**「家庭医をめざして  
ジャングルジムをのぼったら」**

講師: 唐津市民病院きたはた 院長  
大野 每子 先生



## プログラム

12:00~開場・受付

13:00 開会

13:40~15:00 セッション1

① 学生企画「家庭医療の舞台裏へ〜若手キャリアプラン〜」

② ワークショップ「困ったなあ、そうだみんなで相談だ〜多職種連携やってみよう〜」

③ ワークショップ「在宅でどう判断する?〜訪問診療における臨床推論〜」

15:20~16:40 セッション2

④ ワークショップ「臨床に活かすための「患者中心の医療」入門」

⑤ 特別企画「専門医をとったらどうなるの?〜病院総合医のキャリアプラン〜」

⑥ 特別企画「北海道を知ろう〜私の町はこんな町〜」

17:00~基調講演「家庭医をめざしてジャングルジムをのぼったら」

18:30 閉会

19:00~懇親会

(会場 ホテルポールスター札幌 札幌市中央区北4条西6丁目、会費 3,000円)

## 参加費

**<学生>  
<初期研修医>  
無料**

**<支部会員>2,000円  
<非支部会員>4,000円**

日時:  
平成27年11月28日(土)  
13:00~18:30

会場:  
北海道立道民活動センター  
(かでの2・7)  
札幌市中央区北2条西7丁目

♪ 託児所を準備しています♪

最新情報・事前参加申込は  
Facebook または支部 HP より  
<http://jpca-hokkaido.jp/>

対象:  
医療系学生  
研修医  
若手医師  
各種医療専門職

\*本フォーラムは「プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位」として4単位、「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」として2単位が認定されます。

主催: 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 北海道(北海道保健福祉部地域医師確保推進室)

共催: 日本プライマリ・ケア連合学会 学生研修医部会 北海道支部

### 基調講演「家庭医をめざしてジャングルジムをのぼったら」

講師：大野 每子 先生（唐津市民病院きたはた）

座長：木村 眞司 先生（松前町立松前病院）

医者になろうと思ったのは高校生の頃だった。医者がいる原風景は子供のころからお世話になっていた開業医の診療所である。その待合室は消毒薬のにおいがし、掘りごたつがあり、漫画本がおいてあった。大病をしなかった私は大病院のことは知らず、私にとって医師になるというのはそんなところで働く医師になるということと同義であった。大学に入り、家庭医という言葉にであったのは4年生のころである。将来何科にすすみたいか興味がある分野について、学生同士で話題になり始めるころだ。私の通っていた診療所の先生みたいになるには何科に進んだらいいのだろうと友人に話したところ、その勉強熱心な友は「それは家庭医っていうんだよ。」と教えてくれた。しかし、研修先探し、大学院探し、就職先探し…すべて手探りだった。家族ができ、管理職になり雪だるま式に増える責任…ロールモデルを探した。いつも何かを探して道をあゆみ、今に至っている。九州の端っこで、現在仲間とともに展開している家庭医としての仕事を紹介し、また今、道を探している人に少しでも参考になればと体験談を勇気をもってお話ししたい。

### ① 学生企画「家庭医療の舞台裏へ～若手キャリアプラン～」

講師：中川 久理子 先生（寿都町立寿都診療所、家庭医療専門医・指導医）、葛西 孝健 先生（江別市立病院、プライマリ・ケア認定医）、後藤 郁美 先生（上井草診療所、後期研修医）、高石 恵一 先生（勤医協中央病院、初期研修医）

#### 【家庭医療の舞台裏へ】

プライマリケアに興味はあるけれど、ロールモデルとなる先生が身近に少なくモヤモヤしている皆さん！このセッションでは多様な背景をお持ちの4名の医師をお招きします。プライマリケアを志した動機、年齢・卒後年数に応じたキャリアの展望、プライベートの話、仕事と家庭の両立の裏話などをお話しいただきます(30分)。その後、話を聞いてみたい先生とカフェ形式で質疑応答ができます(50分)。

#### 【ようこそ】

### ② ワークショップ「困ったなあ、そうだみんなて相談だ～多職種連携やってみよう～」

代表講師：浅沼 史 先生

（勤医協 月寒ファミリークリニック 事務主任）

現在の医療・介護は専門分化が進み、各専門職種が果たす役割もますます高度になっています。一方、患者さん・利用者さんが抱える問題も複雑化しており、単独の専門職種だけの援助ではうまくいかないことも増えてきました。複数の問題が複雑に影響しあっている方に、複数の専門職種が連携してチームで援助することで、事態を少しでも良い方向に変えられないか、日々続く模索をワークショップで追体験していただければと思います。

### ③ ワークショップ

「在宅でどう判断する？-訪問診療における臨床推論-」

代表講師：今江 章宏 先生

（北海道家庭医療学センター 寿都町立寿都診療所）

「在宅医療（訪問診療）での臨床推論」ってどんなイメージでしょうか？検査機器等の医療資源が限られているのはもちろんですが、他にも病院の救急・入院・外来とはまた違った、在宅ならではの特徴や求められる判断力があります。今回は、実際にあった事例での臨場感あふれる症例カンファレンスを通じて、在宅ならではの臨床推論について皆さんと一緒に考える機会にしたいと思います。

【対象】臨床経験のある初期研修医以降の医師を主な対象としますが、臨床推論に関心のある学生さんや他職種の方の参加も大歓迎です。

### ④ ワークショップ

「臨床に活かすための「患者中心の医療」入門」

代表講師：保脇 雄介 先生（松前町立松前病院）

この患者さん、病院では元気だったのに帰るとすぐ悪くなる…。診断・治療は良いはずなのに、すっきりしないことはありませんか？そんな時は「患者中心でない医療」になっているかもしれません。「患者中心の医療」って何？どうやって実際の医療現場で役立つ？教科書的な疾患知識と一人の人間としての患者さんとの間のギャップに気づくこと、またそれを臨床に活

かすきっかけになることを目標とした、入門用のワークショップです。

### ⑤ 特別企画「専門医をとったらどうなるの？～病院総合キャリアプラン～」

座長：菅藤 賢治 先生（勤医協中央病院）

講師：木佐 健悟 先生（倶知安厚生病院）、佐藤 健太 先生（勤医協札幌病院）、山本 浩之 先生（帯広厚生病院）

家庭医療専門医が少しずつアイデンティティを確立していく中、まだまだ不透明なのが病院総合医のキャリア。現行の家庭医療専門医の多くが診療所で働いている状況で、これまで病院総合医はどのようにキャリアを積み重ねてきたのでしょうか？病院総合医として実際に診療されている先生方に、これまでのキャリアの積み重ね方や後輩に向けたメッセージを語っていただきます。

【対象】主に病院総合医を志望する初期～後期研修医、学生さんでも大丈夫です。

### ⑥ 特別企画「北海道を知ろう～私の町はこんな町～」

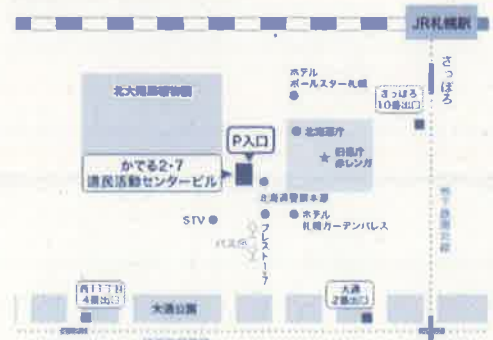
座長：松浦 広昂 先生（手稲家庭医療クリニック）

シンポジスト：大城 忠 先生（道南勤医協江差診療所）、行木 紘一 先生（弟子屈クリニック）、村上 英之 先生（足寄町国民健康保険病院）

北海道内の地域医療の魅力を現場の医師やメディカル（看護師やMSW）から語っていただきます。診療内容から地域の売り・地域住民との距離の取り方など、深く掘り下げてお届けいたします。（各20分）その後全体でディスカッションをする予定です。（20分）

【対象】地域医療って何ですかという方から実際現場で働いています、という方まで幅広く設定しております。

### 会場アクセスマップ



★お車でお越しの際は、地下駐車場をご利用ください★

JR 札幌駅	徒歩 12分
地下鉄さっぽろ駅 10番出口	徒歩 7分
地下鉄大通駅 2番出口	徒歩 9分
地下鉄西11丁目駅 4番出口	徒歩 10分
JRバス北1条西7丁目	徒歩 3分
中央バス北1条西7丁目	徒歩 3分